

公表

事業所における自己評価総括表 児童発達支援

○事業所名	こども通所サービス はいびすかす		
○保護者評価実施期間	令和 6 年 12 月 1 日 ～ 令和 7 年 1 月 10日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	令和 6 年 12 月 1日 ～ 令和 7 年 1 月 10日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7年 1月 29日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別での支援をしているので、一人一人に合わせた支援を取り組むことができる。	一人一人への苦手な部分と得意な部分を評価して、今目標としていることに対して、個別の療育として取り組んでいる。	より専門的な評価をとることで、より一人一人に対しての細やかな療育をすることができる。
2	職員間でのミーティングを常に行っているため、情報の共有等がしっかりできているので、統一した支援をすることができる。	一日の子ども達の様子を密に話し合っている。子供たちの変化を見逃さないようにいつもと違う点はすぐに共有する。	子ども達のカンファレンスの回数を増やしていく。障がいへの知識やかかわり方の研修をもっと多くしていくことでもっと子どもたちへより良い対応をすることができる。
3	保護者の方と常に情報の共有やアドバイスができるような体制を取っている。	お迎え時だけではなく、メールやお手帳、面談等でいつでも話せるようなツールを提供している。	専門的な観点からアドバイスをよりできるように様々なことへ知識をつけていく。またいつでも相談しやすいような環境を設定していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士で交流する機会が少ない。	保護者会や講習会などの企画をしていない。	今後、保護者会や研修会等に向けて、企画をし、保護者同士の交流の場を増やしていく。
2	情報の周知の工夫ができていない（マニュアルや安全対策）	SNSやHPの活用がしっかりできていない。	SNSをもっと活用して、保護者へしっかり周知していく必要がある。
3			